



オリンピックで盛り上がった今年、4年毎に流行すると言われているマイコプラズマが大流行。

マイコプラズマはウィルス似の細菌。細菌なのに細胞壁と言われるところがないために、細菌感染の時に良く使われる抗生物質が効きません。ほかの抗生物質を使用します。

細菌による肺炎とは症状が少し異なるために以前は『異型肺炎』と言われていました。いつもは1年間で人口の5～10%の感染が見られますが、今年は過去最高の感染だそうです。(過去には1984年と1988年に大流行がありました)

流行時期は・・・
晩秋～早春

好発年齢は
幼児・学童・青年
7～8歳がピーク

感染経路は・・・
飛沫感染
接触感染

潜伏期間は・・・
2～3週間

初発症状は・・・
発熱 全身倦怠感 頭痛

咳は初発症状出現から3～5日後に出始め
初めは乾いた咳 → 徐々に強くなり
→ 痰の絡んだ咳に！

咳は解熱後も 3～4週間 続きます

鼻炎
典型的ではありませんが
幼児では頻繁に鼻炎症状が出ます

ほかには、
声の嘎れ(嘎声)
咽頭痛
消化器症状
胸の痛み などが少数 あり

そろそろインフルエンザの予防接種の時期になります。

例年では11月から子供への接種をお勧めしていますが、今年は流行り始めが少し早いように思われます。

早めの予防接種をお勧めします。



小児科医 副院長

椎貝 典子